東京に『市民』発電所を！

～エネルギー消費地から生産地へ／地域力が社会を変える！～

「3.11」は私たちに電気の意味を強く問いかけてきました。噴出した原子力発電の諸問題。それに代わる代替エネルギー、たとえば太陽光発電は、本当に私たちの生活を支えることができるのでしょうか?
再生エネルギーの取り組みが本格化しつつある今、改めてこれからの自然エネルギーをテーマに熱い討論を展開します。大手電力会社が独占していた事業を、本当に地域で担うことはできるのか?　市民が中心で電力会社なんかできるの?
討論に集まるのは、地域エネルギーに積極的な世田谷、多摩の区長、市長。それに自然エネルギー分野で鋭い発言を続ける専門家の方々です。
当日特典として、桃井が5月に撮影したばかりのインド・ヒマラヤ「本当の幸せ」の写真もお見せいたします。乞うご期待。（代表理事　桃井和馬）

●5月28日（火）
●Open 18:30 / Start 19:30
●予約1300円 / 当日1500円（＋飲食代）
●会場：ロフトプラスワン新宿区歌舞伎町1-14-7 林ビルB2
☆なぜ市民発電所が必要なのか？
☆エネルギー地産地消に向けて今できること！
☆自然エネルギーは原発に代わることができるのか？
☆新しい「幸福」のカタチ！

ゲスト：保坂展人（世田谷区長）・阿部裕行（多摩市長）・大林ミカ（自然エネルギー財団）・古屋将太（環境エネルギー政策研究所）・高橋真樹（ノンフィクションライター）

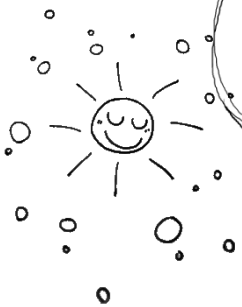
→予約は多摩エネ協へ！

一般社団法人
多摩循環型エネルギー協会
http://tama-enekyo.org/

〒206-0033　多摩市落合1-46-1　　ココリア多摩センター4階
ＴＥＬ/ＦＡＸ:042-357-0335　E-mail:info@tama-enekyo.org

多摩エネ協 しんぶん 第１号2013年5月発行

多摩エネ協



6/1
エネ・カフェ

5/28
イベント
東京に『市民』
発電所を!

多摩エネ協 しんぶん 第1号

6/9
次世代リーダー
育成プログラム
スタート

7/6
地域発電所第1号
「恵泉」
発電開始式

多摩エネ協からの
お知らせ
お願いなど

多摩エネ協しんぶんは年に４回発行です。

多摩エネ協から

皆さん、こんにちは！
多摩エネ協（一般社団法人 多摩循環型エネルギー協会）です。
多摩エネ協は、3.11後のエネルギーのあり方を考え、環境に負荷の少ない自然エネルギーを進めたいと、市民が集まって昨年5月11日に団体を設立しました。
その後、一般社団法人となり、映画上映やシンポジウム、エネ・カフェなどを企画実施しながら、仲間の輪を広げ、会員数は現在117名となりました。
1年間、とにかく全力で走ってきましたが、2年目からは広く皆さんとつながるために、通信を発行いたします。
ぜひ、あなたもお仲間に！
関心のある方は、ココリア多摩センター4階の事務所へ、お気軽にお立ち寄りください。

次世代リーダー育成プログラム開始！

多摩エネ協では、今年6月からエネルギーをテーマにした次世代リーダー育成プログラムを開始します！
大学生・大学院生が月1回ペースで集まり、自然エネルギー・地域づくり・環境教育・ソーシャルビジネス等をキーワードに、体験活動と実践現場での研修活動を通じて、次世代を育成する年間コースです。
多摩市には大学が多くあります。そうした大学に通う学生たちが、環境のこと、エネルギーのこと、地域のことに関心を持ち、地域に積極的に関わることで、地域と環境を愛する若者を輩出していきます。初回は6月9日。
元気のいい学生たちの活躍をご期待ください！

6月エネ・カフェ

毎月第1土曜日の15:00（原則）から誰でも参加できるエネ・カフェを開催しています。6月のエネ・カフェは初の野外ワークショップを含む新企画！多摩市民環境会議にご協力いただき、省エネサポートデスクの発電キットの実演や省エネナビの紹介、メンバー所有の木の枝発電装置も試してみます。
講師は、多摩エネ協の新理事で同会議メンバーでもある中瀬剣正さん。予約不要、関心のある方はどなたでも参加できます（参加無料、ただしトレーノ・ノッテでのお茶代は各自負担でお願いします。）

●6月1日（土）
●15:00～17:00
●パルテノン多摩4階 カフェ　トレーノ・ノッテ

地域発電所第1号
恵泉女学園大学南野校舎に市民発電所ができました！

南野校舎に、計30kW、120枚のソーラーパネルが設置され、7月6日（土）11:00から発電開始式を行います。
当日は、発電開始式のあと南野校舎のオーガニックカフェで、お祝いの会も開催予定です。
（近くなりましたらホームページに掲載いたします）
現在、2号発電所に向けて、市民ファンド「たまでん債」を募集中です。